

平成21年3月期 第3四半期 業績の概況

1 連結業績の概要

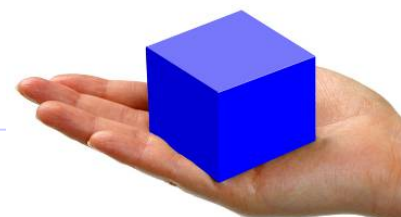
- 1) 連結業績概要 前年同期比
- 2) 業績のポイント
- 3) 市場別・セグメント別売上高
- 4) 損益計算書

2 平成21年3月期 業績予想

- 1) 平成21年3月期 業績予想
- 2) 市場別売上高
- 3) 四半期毎の市場別売上高
- 4) 四半期毎の業績推移

3 その他の情報

- 1) 海外市場について
- 2) 配当予想について
- 3) 資本政策について



We Secure the Future

思いをかなえる 技術で見つめる 確かな未来

平成21年2月9日

当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。

当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動などのリスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、投資判断を決定する場合には、本資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。

連結業績概要 前年同期比

売上高

前年同期は郵政民営化向け機器やたばこ販売機の成人識別対応など大口需要が含まれていたこと、及び今第3四半期以降の市場環境悪化による設備投資抑制と円高の影響により前年同期に比べ減少。

利益

売上高の減少に伴い、減少。

(百万円)	平成20年3月期 第3四半期(累計)	平成21年3月期 第3四半期(累計)	前年同期比
売上高	144,109	109,045	▲24.3%
営業利益	20,388 (14.1%)	8,940 (8.2%)	▲56.2%
経常利益	20,522 (14.2%)	8,709 (8.0%)	▲57.6%
当期純利益	11,256 (7.8%)	5,667 (5.2%)	▲49.7%

業績のポイント

金融機関市場

■大口需要関連製品が減少

金融機関の業務厳正化ニーズは依然強いものの、前期に郵政民営化に向けた大口需要があったオープン出納システム、並びに窓口用入出金システムのユニットの販売は減少。



オープン出納システム

海外市場

■OEM製品のATM用紙幣入金ユニットは堅調に推移

OEM製品のATM用紙幣入金ユニット、小型紙幣整理機の需要は拡大したが、窓口用紙幣入出金機RBUシリーズの販売が低調に推移。



ATM用紙幣入金ユニット

流通・交通市場

■レジつり銭機が堅調に推移

スーパーや専門店などを中心にレジつり銭機の需要が拡大。
また、大手スーパー向け小型売上金入金機の販売も堅調に推移。



レジつり銭機

自動販売機市場

■たばこ販売機の販売が減少

成人識別機能付きたばこ販売機の需要が第1四半期までにほぼ一巡したことに加え、たばこの販売がコンビニエンスストア等にシフトしたことにより販売が減少。



たばこ販売機

遊技市場

■周辺機器の販売が低調

業界における設備投資抑制は続いているものの、大手チェーン店を中心にカードシステムの販売が堅調に推移。



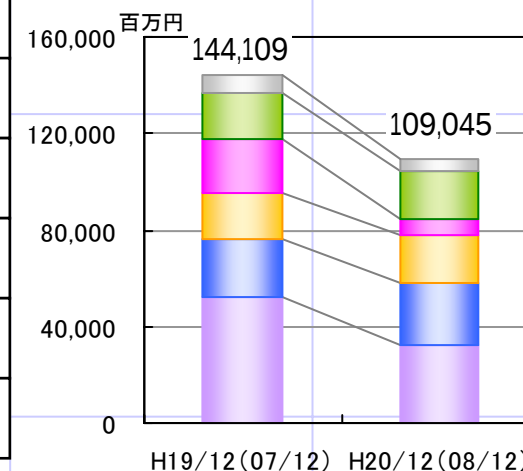
ホール向けカードシステム

市場別・セグメント売上高

(百万円)

市 場	平成20年3月期 第3四半期(累計)	平成21年3月期 第3四半期(累計)	前年同期比
金融機関	51,948	33,681	▲35.2%
海 外	24,430	25,371	+3.9%
流通・交通	18,964	20,509	+8.1%
自動販売機	22,640	6,340	▲72.0%
遊 技	18,563	18,744	+1.0%
一 般	7,564	4,400	▲41.8%

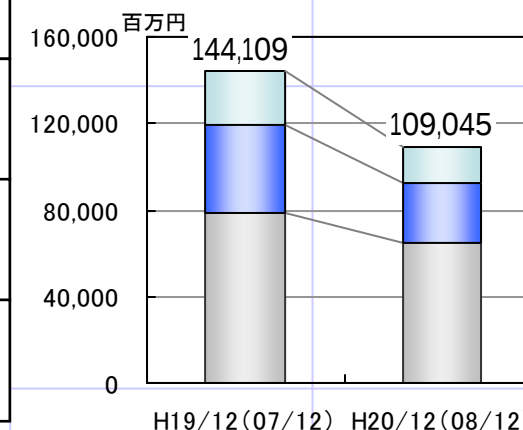
全市場



(百万円)

セグメント	平成20年3月期 第3四半期(累計)	平成21年3月期 第3四半期(累計)	前年同期比
貨幣処理機 及び貨幣端末機	78,902	64,344	▲18.5%
自動販売機 及び自動サービス機器	40,052	28,374	▲29.2%
その他の商品 及び製品	25,155	16,327	▲35.1%

全セグメント



損益計算書

(単位:百万円)

(百万円)	平成20年3月期 第3四半期 累計期間	百分比 (%)	平成21年3月期 第3四半期 累計期間	百分比 (%)	増 減
売上高	144,109	100.0	109,045	100.0	▲35,064
売上原価	90,575	62.9	68,391	62.7	▲22,184 ①
販管費	33,145	23.0	31,713	29.1	▲1,432
営業利益	20,388	14.1	8,940	8.2	▲11,448
営業外収益	1,255	0.9	1,096	1.0	▲159
営業外費用	1,090	0.7	1,327	1.2	237 ②
経常利益	20,552	14.3	8,709	8.0	▲11,813
特別利益	42	0.0	476	0.4	434
特別損失	1,022	0.7	479	0.4	▲543 ③
税金等調整前 四半期純利益	19,572	13.6	8,705	8.0	▲10,867
法人税等調整額	8,222	5.7	2,998	2.7	▲5,224
四半期純利益	11,256	7.8	5,667	5.2	▲5,589

- ①原価率：コストダウン活動の成果やたばこ販売機の成人識別対応が完了したことにより低下
 ②営業外費用：為替差損990百万円などが発生(為替差損は2Q累計期間比793百万円増)
 ③特別損失：投資有価証券の評価損(215百万円)や
 設備機器などの固定資産除却損(189百万円)などが発生

平成21年3月期 業績予想

売上高

昨年の大口需要の反動と金融危機による投資抑制、円高、たばこ販売機の売上げ低迷により、前年同期から減少。

利益

売上高の減少により減少。

(百万円)	平成20年3月期	平成21年3月期 予想	前年同期比	平成21年3月期 通期予想 (平成20年10月29日時点)
売上高	185,181	145,000	▲21.7%	150,000
営業利益	22,826 (12.3%)	9,500 (6.5%)	▲58.4%	11,000 (7.3%)
経常利益	21,582 (11.6%)	9,000 (6.2%)	▲58.3%	11,500 (7.6%)
当期純利益	11,711 (6.3%)	6,000 (4.1%)	▲48.8%	7,500 (5.0%)

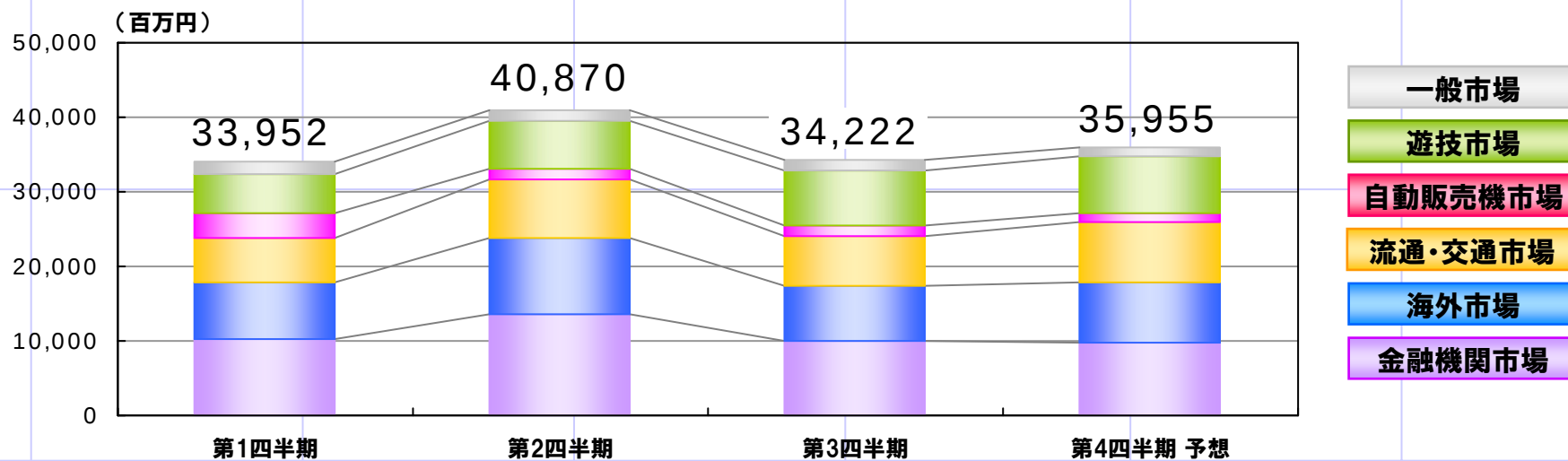
【業績修正理由】世界的な金融危機の影響により、景気が急速に悪化する中、金融市場をはじめとした当社の主要市場において、買い控えなど設備投資の抑制がさらに強まっております。加えて、急激な円高の進行を勘案し、前回予想時点の想定為替レートを見直したことなどにより、平成20年10月29日に公表いたしました業績予想を下回る見込みです。

市場別売上高

(百万円)	平成20年3月期 (2008年3月期)		平成21年3月期 予想 (2009年3月期 予想)		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年同期比
金融機関	68,030	36.7%	47,500 ➡ 43,500	30.0%	▲36.1%
海 外	31,784	17.2%	35,000 ➡ 33,500	23.1%	+5.4%
流通・交通	26,838	14.5%	29,500 ➡ 28,500	19.7%	+6.2%
自動販売機	27,882	15.1%	7,500 ➡ 7,500	5.2%	▲73.1%
遊 技	21,558	11.6%	24,500 ➡ 26,500	18.3%	+22.9%
その他	9,089	4.9%	6,000 ➡ 5,500	3.8%	▲39.5%

※左側の数値は平成20年10月29日公表値

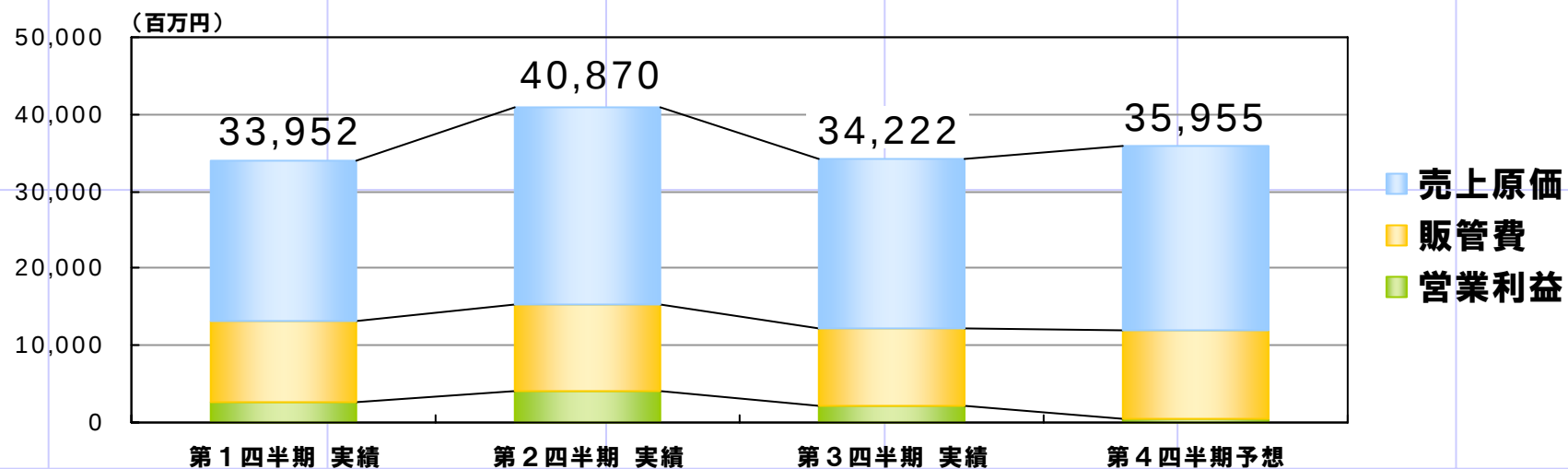
四半期毎の市場別売上高



平成21年3月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期 予想	通期予想
国内金融機関	10,130(29.8%)	13,555(33.2%)	9,996(29.2%)	9,820(27.3%)	43,500(30.0%)
海 外	7,666(22.6%)	10,348(25.3%)	7,358(21.5%)	8,128(22.6%)	33,500(23.1%)
金融機関 合計	17,796(52.4%)	23,903(58.5%)	17,053(49.8%)	17,948(49.9%)	77,000(53.1%)
流通・交通	5,902(17.4%)	7,796(19.1%)	6,811(19.9%)	7,991(22.2%)	28,500(19.7%)
自動販売機	3,522(10.4%)	1,429(3.5%)	1,389(4.1%)	1,160(3.2%)	7,500(5.2%)
遊 技	5,074(14.9%)	6,313(15.4%)	7,357(21.5%)	7,756(21.6%)	26,500(18.3%)
一 般	1,658(4.8%)	1,429(3.5%)	1,312(3.8%)	1,100(3.1%)	5,500(3.8%)
合 計	33,952 (100.0%)	40,870 (100.0%)	34,222 (100.0%)	35,955 (100.0%)	145,000 (100.0%)

()は構成比を表しています。

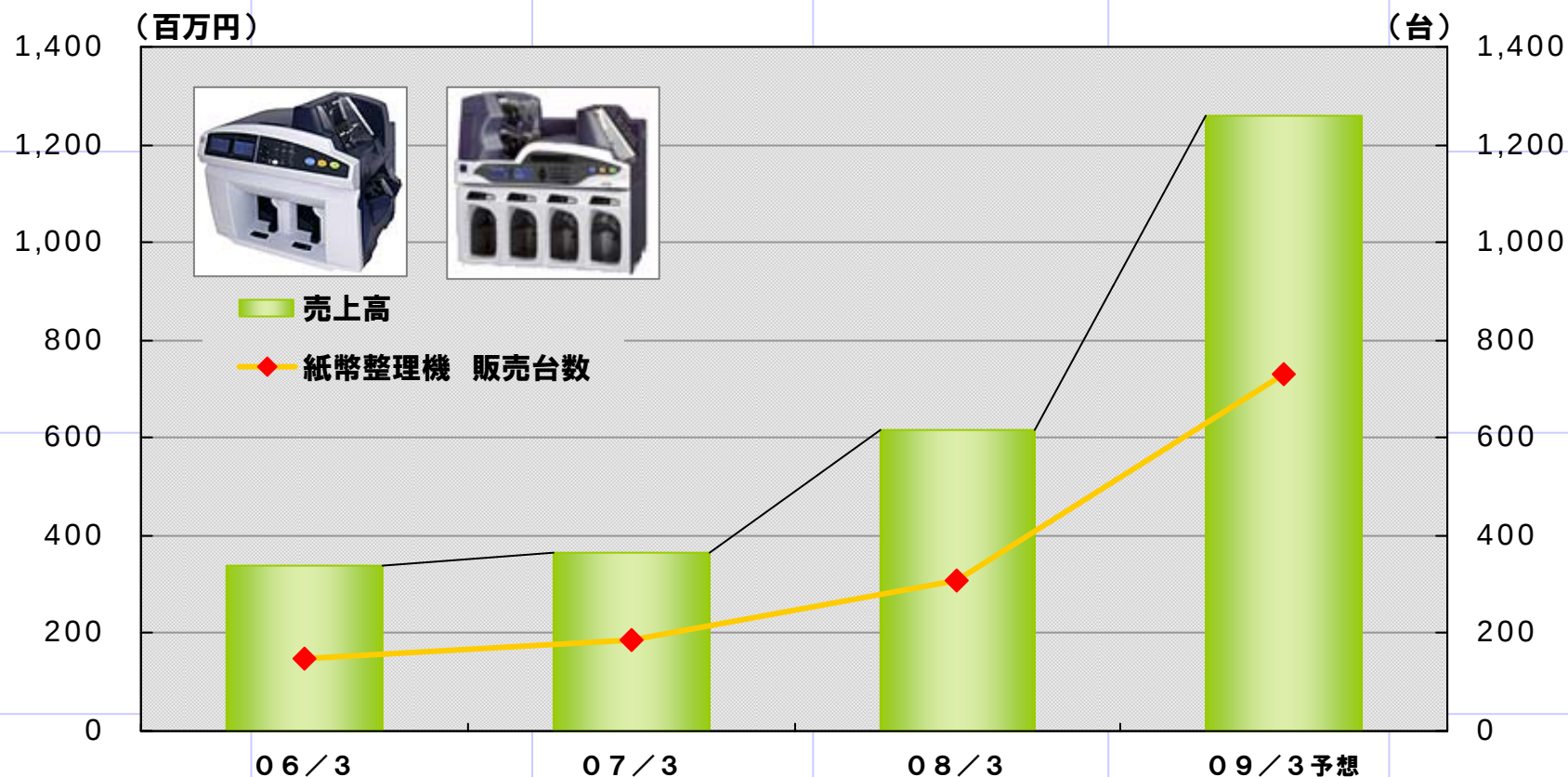
四半期毎の業績推移



平成21年3月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期 予想	通期予想
売上高	33,952	40,870	34,222	35,955	145,000
売上原価 (売上高率)	20,908 (61.6%)	25,562 (62.5%)	21,922 (64.1%)	24,108 (67.1%)	92,500 (63.8%)
販管費 (売上高率)	10,355 (30.5%)	11,168 (27.3%)	10,209 (29.8%)	11,287 (31.4%)	43,000 (29.7%)
営業利益 (売上高率)	2,690 (7.9%)	4,158 (10.2%)	2,092 (6.1%)	559 (1.6%)	9,500 (6.6%)

海外市場について

●中国市場動向：光栄国際貿易（上海）有限公司



■中国での業績が拡大基調へ

- ・ATM市場の拡大に伴う正損・整理業務向けに紙幣整理機の需要拡大。
- ・現地法人体制の強化、代理店の見直しによる販売体制強化
- ・展示会など販売施策の強化

※上記以外に香港、マカオ向け売上高:約6億円(09/3予想)

配当予想について

配当基本方針

自己資本をベースとした**1株当たり年間30円**の配当を基準とし、連結業績等の動向も勘案**(連結当期純利益の25%程度を目処)**した利益還元を行ってまいります。



1株当たりの配当金

	中間期末	期 末	年 間
平成21年3月期 予想 (平成20年11月10日)	15円00銭	15円00銭	30円00銭
平成21年3月期 予想 (平成21年2月9日)		15円00銭	30円00銭
当期 実績	15円00銭		
平成20年3月期	14円00銭	26円00銭	40円00銭
	普通配当14円00銭	普通配当14円00銭 特別配当12円00銭	普通配当28円00銭 特別配当12円00銭

資本政策について

●自己株式取得

	第1回目	第2回目	第3回目
1. 取得した期間	平成19年5月18日 ～8月16日	平成20年2月7日 ～3月18日	平成20年9月1日 ～12月22日
2. 取得した株式の種類	当社普通株式	当社普通株式	当社普通株式
3. 取得した株式の総数	約139万8,000株	約105万4,300株	約340万0,000株
4. 株式の取得価額の総額	約39億9,590万円	約26億5,360万円	約57億5,580万円

●自己株式消却

	第1回目	第2回目
1) 消却した株式の数	約139万8,000株 (発行済株式総数の1.88%)	※300万0,000株 (発行済株式総数の4.12%)
2) 消却日	平成19年11月9日	※平成21年2月20日 (予定)
3) 消却後の発行済株式総数	72,838,210株	※69,838,210株

※平成21年2月20日実施予定の自己株式消却は平成21年2月9日開催の取締役会において決議いたしました。